

奇跡

河村 純

山口県・18歳・高校生

キミと出会って、早いもので1年も過ぎたんだよね。今日までずっと毎日僕はおどろきと感動の嵐で、楽しい事だらけだったよ。でも楽しい事を始めるのは全部キミ、僕は後についていだけ……。今となったら、ちょっと悲しいかな？

でもって、この1年色々あったよね。春はお花見して、夏は海に行って泳いだし、僕はおぼれたけど……。秋にはキミだけいろんな物を食べてて、僕はあきらめるだけ……。そして今年の冬は……。

そうそう、出会った日は今みたいな冬の日だったね。おかしなもので二人とも最初の一言が、

「あれ、どこかでお会いしませんでした？」

だもんね。結局二人とも間違いだった訳だけど、今考えればおかしな話だよ。これが1年前の話。ホント、1年なんてすぐに過ぎるものだよね。そう、本当に……。

僕は今、一つの事を考えながら、この手紙を書いています。「奇跡」が起きないか

な……。キミが聞いたら、

「奇跡は起きないから奇跡って言うんです」

とかいいそうだけど、昨日、キミは一言絶対こう言ったよね。

「奇跡でも起きれば、何とかありますよ」

とね。

そう言うキミは笑っていたよね。キミは僕といた1年、ずっと笑っていたよね。自分の事を聞かされていたはずなのに……。その時、僕はキミが強い人だと再確認したよ。そして、僕の、僕の一番大切な人だという事も……。

でも、キミは今いない。キミの姉さんから、とても苦しんでるから会ってほしいと言われた。けど、キミのつらそうな顔を見たくない。もう、つらい別れをするぐらいなら……。キミとの事、全部忘れる。

もし、「奇跡」が起これたら、「初めまして」を、もう一度……。